

東濃



クラウン・ドール(3)
一水会 相馬 順
(各務原市新鶴沼)

多治見支局
〒507-0037
多治見市音羽町4-
0572(22)3
Fax(23)5

恵那通信局
0573(26)2
Fax(26)5

中津川通信局
0573(66)1
Fax(62)0

可児通信部
0574(62)1
Fax(61)0

岐阜支社
〒500-8875
岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12
058(265)0
Fax(262)8
(販売)(265)0
(広告)(266)4
(事業)(265)0

美濃陶祖・加藤康景さん制作

土岐市泉町久尻の曹洞宗寺院「清安寺」に十四代目美濃陶祖・加藤康景さんが手掛けた陶製の天水桶がお目見

土岐 清安寺

えした。大久保厚志住職(三)は「大切にしたい、次代へと受け継いでいきたい」と話した。(谷口大河)



14代目陶祖・加藤康景さんが手掛けた天水桶。「感無量」と語る大久保住職。いずれも土岐市泉町久尻の清安寺で

彩る天水桶お目見え

天水桶とは防火用に堂の天井画制作を本紙雨水をためる桶のこ連載小説「親鸞」の挿と。同寺の本堂前に設絵を手掛けた画家山口置された一對の桶は深晃さんに依頼。杉板十みのある織部で、高一枚を使い、縦二層、さ、直径ともに約八十横十二層にもなる大作。上から見た縁はわずかに湾曲した八角形。墨で描かれ、雲間に躍る五匹の竜。中央の美濃陶祖代々の菩提竜には「清安寺」の文寺である同寺は、二〇字が巧みに隠されてお

本堂の天井に躍る竜 隠し絵も探してネ

〇九年に本堂の瓦と天り、遊び心が感じられ井を改修。それに合わせる。大久保住職は「実せて「美濃焼が盛んなはもう一つ絵が隠されこの地ならではの物ている。年末年始に寺を」と、加藤さんに天を訪れた際は、ぜひ探水桶の制作を依頼してみて」と呼び掛けた。先月末に六人掛かりで搬入、お披露目と問い合わせは清安寺。電0572(55)32

また改修に際し、本68へ。



画家・山口晃さんが描いた本堂の天井画(一部)

内科
消化器科
人間ドック
しもむら医院
岐阜市神室町五丁目

電(262)379